



ふくしま教育ニュース

特集〈頑張る学校応援プラン 一部改定〉

2018年3月 第49号 編集・発行 福島県教育委員会

未来のふくしまを担う人づくりを目指して

福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一

平成もついに30年という節目を迎えました。本県においては東日本大震災から7年が経過した今もなお、多くの方が避難を続けている一方、昨年の楡葉町、南相馬市小高区に続き、川俣町山木屋地区、富岡町、浪江町、葛尾村、飯館村が4月から地元で小中学校を再開します。県教育委員会では、すでに再開した学校も含め、子どもたちが安心と喜びをもって学べる学校づくりをしっかりと支援してまいります。また、国家プロジェクトとして推進される「福島イノベーション・コースト構想」においては、再生可能エネルギーやロボット、農林水産分野等における構想を担う人材の育成が鍵となっています。そこで、ふたば未来学園高校の先進的な学びや、昨年開校した小高産業技術高校のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)の専門的な取組も生かしながら、浜通り地域を中心とした高等学校や義務教育諸学校において、理数教育や専門教育、キャリア教育などを



【ふたば未来学園高等学校バドミントン部 表敬訪問】

推進してまいります。さらに、伊達、安達、南会津の3地区に地域の実状を踏まえて特別支援学校を整備するなど、学びのセーフティネットの構築にも力を入れてまいります。

教育を取り巻く情勢は、目まぐるしく変化しています。新学習指導要領において充実が図られる小学校英語教育や高大接続改革への対応、県立高等学校の改革、地域と共にある学校づくりなど、取り組むべき課題は枚挙にいとまがありません。このため、「頑張る学校応援プラン」を一部改定し、引き続き、学校、家庭、地域との連携を深めながら、子どもたちの学力はもとより、豊かな人間性を育み、未来のふくしまを担う人づくりを進めてまいります。

「地域学校協働活動事業推進フォーラム」を

開催しました!

平成30年1月31日(水)、郡山市のビッグパレットふくしまにおいて、「地域学校協働活動事業推進フォーラム」を開催しました。当日は、地域学校協働本部設置市町村関係者、コミュニティ・スクール実施市町村関係者、小・中・高等学校教職員、幼稚園・保育所・認定こども園関係者、地域と学校の協働活動に関心のある方々が約250名集まりました。

テーマ「地域と共にある学校を目指して」のもと、実践発表、ポスターセッション、パネルディスカッションを通して、地域社会と学校が一体となって子どもを育てるとともに学校も地域に貢献する体制づくりについて考える一日となりました。

また、フォーラムの最後には、「地域と共にある学校」の実現に向けて、福島県復興教育アドバイザーの貝ノ瀬 滋氏(文部科学省視学委員)より総括講話をいただき、これからの福島県の教育への想いを共有することができました。



【有識者によるパネルディスカッション】



【ふくしま高校生スマホサミット 宣言文発表】



【ふくしま高校生スマホサミット 宣言文作成】



【特別支援学校 作業技能大会 いわき支援学校】



【全校綱引きで握力アップ 福島市立吉井田小学校】

主要施策 5

学びのセーフティネットの構築

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置や教員の加配、学びを断念させないための就学支援、ふくしま高校生スマホサミットの開催など、安心して学び遊ぶことができる環境づくりを進めています。

今後は、「ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト」による運動習慣の形成と体力向上、特別支援教育の環境の充実のため「第二次県立特別支援学校全体整備計画」に基づく特別支援学校の整備、地域支援センターの設置、SNSを活用した相談体制の充実などにも取り組んでいきます。



【双葉郡子供未来会議】



【ふるさと創造学サミット 双葉町立双葉中学校】



【子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業】

主要施策 4

ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

ふたば未来学園高校に併設する中学校の開設準備や小高産業技術高校の開校をはじめ、学校再開支援チームによる避難地域12市町村の学校教育の魅力化、「新」双葉地区教育構想の推進、「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」などの取組を行ってきました。

今後は、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成に取り組むとともに、オリンピック・パラリンピック教育の推進、冬季インターハイスピードスケート競技の開催など、ふくしま発の未来創造教育を進めます。



【小高産業技術高等学校 文科大臣視察】

頑張る学校 応援プラン

～ふくしまの挑戦と戦略～
(平成30年3月一部改定)

主要施策 3

地域と共にある学校

8地域で実施している「地域学校協働活動事業」において学校と地域の協働体制を整え、学校に地域連携担当教職員、地域に地域コーディネーターを配置し、子どもの地域行事への参加や放課後の学習活動等を効果的に進めてきました。また、コミュニティ・スクールの促進のために、成果共有の場として「地域学校協働活動事業推進フォーラム」を開催（表面掲載）しました。

引き続き、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの成果の分析により、「地域学校活性化推進構想」を策定・推進します。

平成29年3月に策定した本プランは、平成29年度の取組状況を踏まえ、策定後の変化に対応するため一部改定しました。

改定版は、福島県教育委員会のサイトで御覧いただけます。



<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/plan.html>



【会津農林高等学校(会津早乙女踊り)】

主要施策 2

教員の指導力、学校のチーム力の最大化

先進校への視察や職員間の学び合いによる指導力の向上、教員の資質向上のための指標や研修計画の策定、福島大学教職大学院への教員派遣や先進県での研修、優秀教職員研修などを実施してきました。

今後はさらに、「教職員多忙化解消アクションプラン」により、大規模の小学校にスクール・サポート・スタッフ、中学校・高校に部活動指導員を新たに配置するなど、教員が自ら学び、児童生徒と向き合う時間の確保に努めるとともに、学校マネジメント力の強化を図るため、副校長・主幹教諭を配置します。



【白河市立みさか小学校 校内研究会】



【福島明成高等学校 表敬訪問】



【教育公聴会(会津地区)】

主要施策 1

学力向上に責任を果たす

学力の向上を図るため、「授業スタンダード」及び「家庭学習スタンダード」(裏面掲載)を作成し、学校や家庭に配布するなどの取組を行ってきました。

今後は、子ども一人一人の伸びを確認する新たな学力調査、活用力育成シートによる子どもの思考力・判断力・表現力等の育成、高校入試の見直し、「ふくしま小学校外国語教育推進プラン」による小学校英語教育の充実や、大学入試改革も見据えた英語4技能の総合的な育成などに取り組みながら、本県ならではの教育を推進します。



【川俣町立山木屋小学校 復興教育アドバイザー訪問】



【郡山北工業高等学校 教育長視察】



【南相馬市立小高福浦金房鳩原小学校ICTを活用したプログラミングの授業 Pepper社会貢献プログラムに参加しています。】



【合同表彰式(算数・数学ジュニアオリンピック)】

家庭・地域と「ふくしまの家庭学習スタンダード」



「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」は、変化の激しいこれからの時代を生きる子どもたちに、家庭学習を通して育みたい力を家庭・地域と学校が共有し、連携・協力して、お互いの役割を果たすことができるよう作成したリーフレットです。「授業は先生や友達と力を合わせて……。家庭学習は自分の力で……。」と表紙にあるように、家庭学習においては、授業を進めてくれる先生や一緒になって勉強してくれる友達はいません。また、ゲームやスマホなどを自由に使える環境にもあり、家庭学習の質と量は、子どもたちの意思に大きく左右されることになります。そこで必要になるのが、自己マネジメント力(R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力)です。

- Research (自分を知る)
- Plan (計画する)
- Do (自ら学習する)
- Check (確かめる)
- Action (見直す)

本リーフレットには、子どもたちの家庭学習を充実させるための「家庭・地域の関わり」や「学校の取組」等を掲載しました。「家庭・地域の関わり」については、「心の支え」、「環境づくり」、「習慣づくり」の3つの視点に分けて例示し、御家庭でお子さんと一緒に家庭学習を振り返ることができるようにチェックリストも掲載しました。「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」を仲立ちとして、家庭・地域と学校が連携・協力し、子どもたちの家庭学習を充実させていきましょう。



【家庭学習スタンダード作成委員会】

「教職員多忙化 解消アクションプラン」

福島県教育委員会では、公立学校の教職員が自ら学び、児童生徒と向き合う時間を確保するため、長時間勤務を改善するアクションプランを推進します。これにより学校のチーム力や教員の指導力を最大化し、豊かな教育環境の形成を目指します。詳しくは、福島県教育庁職員課のWebサイトを御覧ください。

福島県教育庁職員課

福島県教育庁義務教育課

「わかったらうれしい。」「できたらたのしい。」学ぶ喜びは今からでも味わえます。夜間中学で「学びたい」という声を、「学びたい」という思いをぜひお寄せください。福島県教育委員会ではニーズ調査を行っています。詳しくは、福島県教育庁義務教育課のWebサイトを御覧ください。

「夜間中学を知っていますか」

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方々が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」

0120-453-141

〈子ども・保護者のための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」

0120-916-024



福島県民の7人に1人*がご加入いただいています。

小さな助けあいから始まった福島県民共済もおかげさまでご加入者は29万人を超えました。これからも皆さまの暮らしをお守りできるよう努めてまいります。

*平成29年10月末の福島県民共済の加入者数合計29万2,611人(生命共済「こども型」「総合保障型」「入院保障型」「熟年型」「熟年入院型」等)。福島県の人口188万480人(福島県ホームページ 平成29年11月1日現在)より算出。

●充実の保障ラインナップ

こども型

総合保障型

入院保障型

熟年型

熟年入院型

助けあいの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県認可 福島県民共済生活協同組合
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F

☎ 0120-282-869

FAX 024(524)1400

【受付時間】平日 9:00～17:00

福島県民共済

共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会